国際協力の推進

令和8年度予算概算要求額 3,347百万円(前年度 2,678百万円)

く対策のポイントン

我が国及び世界の食料安全保障の確保に向けて、開発途上国の農林水産分野の持続可能性確保と生産性向上の両立を図るための技術協力や、国際機 関と連携した食品安全・動物衛生・植物防疫に係る国際基準の策定などを推進します。

<政策目標>

開発途上国の農林水産分野の持続可能性確保と生産性向上

く事業の全体像>

1. 農業生産性向上の支援

<主な事業>

- ① 西アフリカにおける持続的な食料生産支援
- これまで国連世界食糧計画(WFP)との協力で培われたノウハ ウを活用し、民間企業と連携した小規模農家への技術支援を実施
- ② 世界の食料安全保障に貢献する農業技術や品種の開発

国際機関や民間企業と連携し技術開発等を推進することで、

国際的な食料安全保障と農業のゼロエミッション化の両立に貢献

③ グローバルサウスにおける農業農村開発の推進

関係国・地域との連携を強化し、水に関する国際的な議論等を リードするとともに、気候変動等に対応した農業農村開発を推進





ICT水管理システムの導入

3. 食品の安全確保と安定供給

く主な事業>

<事業の流れ>

玉

① 国際基準の策定・普及

国際機関に専門家を派遣してSPS(食品安全、動物衛生、 植物防疫)関連の国際基準策定の主導や国際基準の普及 啓発に係る活動等を支援

② 越境性動物疾病等への対策

委託・定額・1/2以内

定額

国境を越えてまん延するアフリカ豚熱や口蹄疫等の越境性動 物疾病及び鳥インフルエンザや狂犬病等の人獣共通感染症等 への対策として、各国間の協力体制の確立を支援



ワークショップ(出典:FAO)



拠出金·分担金 国際機関 (1、2、3、4の事業の一部)

民間団体等

民間団体等

(1、2、4の事業の一部)

定額

民間団体等

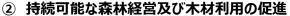
(4の事業の一部)

2. 気候変動などグローバルな課題への対応

く主な事業>

① 我が国の優れた環境配慮型技術の普及・展開

国際機関と連携し、農業分野における温室効果ガス排出を抑えた 栽培体系の実証や二国間クレジット制度(JCM)の活用に向けた 投資促進等の取組を支援



森林資源の循環利用と生物多様性の保全に関する政策環境の整 備、持続可能な木材サプライチェーンの構築、民間事業者による森林 保全・再生を支援

③ 水産物の安定供給・水産資源管理

IUU(違法・無報告・無規制)漁業対策に向けた漁業管理能力 向上の取組や、環境に配慮した養殖技術の展開、入漁先国など水 産外交上重要な国に対する協力等を実施





持続可能な漁業を 目指す取組への支援 (出典: SEAFDEC)

4. 我が国の民間企業等との連携強化に着目した取組

く主な事業>

- ① 民間企業の先端技術等を活用した農業団体等の機能強化 アフリカの農業団体等を対象に民間企業のノウハウや技術を活用し た招聘研修等を実施。組織運営や営農スキルの向上等を支援
- ② 国際機関と連携した民間企業と現地生産者の協働支援等

国際農業開発基金(IFAD)と連携し、日本の民間企業と現地 生産者とのマッチングを図り、これら企業による持続可能なサプライ チェーンの構築、作物の品質・生産性の向上等の取組を支援 また、ウクライナの農業の早期回復、日本企業の事業展開に向け、



我が国技術の適用可能性調査や技術者等の現地派遣等を実施提供: UCCジャパン株式会社

[お問い合わせ先] 輸出·国際局 新興地域グループ (03-3502-5913)